

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催 に向けた区の実施について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた区の実施について、以下のとおり報告する。

1 聖火リレーのルート及び出発式・到着式について

(1) 平成30年12月17日に行われた「第3回東京都聖火リレー実行委員会」において、東京都で実施される聖火リレーについては、以下の意見が出されている。

- ①新国立競技場の位置を踏まえ、多摩・島しょ地域を前半に巡る。
- ②新国立競技場に向かって、時計回り（半時計回り）で近づいていく。
- ③原則、隣接する区市町村にリレーすることとし、できる限り「一筆書き」とする。

(2) 東京都内においては、2020年7月10日から24日にかけて、15日間聖火リレーが行われる。

都内62区市町村を巡ると、1日あたり概ね3から5自治体となり、杉並区の日程は、7月中旬になると想定される。

東京都へは、青梅街道を第1候補のルートとすること、桃井原っぱ公園での出発式や到着式などの式典を開催することについて、昨年末、改めて要請したところであり、希望したルートについて、2月18日に都担当者による実地調査が行われた。

(3) 聖火リレールート案の最終決定は、各区市町村の調査結果を受け、今夏には大会組織委員会にて、公表される予定である。

2 大会・都市ボランティアと区独自ボランティアの募集について

(1) 大会・都市ボランティア

- ①平成30年9月より行っていた大会・都市ボランティアの応募が12月に締め切られ、大会ボランティアには204,680名（募集数8万人）、都市ボランティアには36,649名（募集数3万人）の登録があった。
- ②都市ボランティアについては、杉並区を通して、外国語登録ボランティア、スポーツ推進委員、区内六大学学生などから希望のあった51名を推薦した。
- ③ボランティアの名称については、ボランティア登録者の投票により、大会ボランティアが「フィールドキャスト」、都市ボランティアが「シティキャスト」に決定した。

(2) 区独自ボランティアの募集

- ①大会・都市ボランティアに続き、区独自ボランティアの募集を開始する。
- ②ホームステイ・ホームビジットや区内イベントでの活動を通して、多くの方が、気軽に、ボランティア活動に参加できる場面を創出していく。
- ③区独自ボランティアに関し、下記の講演会及び登録会を実施する。

【すぎなみ地域大学 公開講座】

みんなでつくるすぎなみのまち すぎなみ版ボランティア

“おもてな市民” 講座

- 日 時 平成31年3月3日(日) 午後2時～3時
- 会 場 ウェルファーム杉並
- 講 師 日本スポーツボランティアネットワーク特別講師 西川 千春 氏
- 定 員 100名(先着順) ※2月19日現在、95名の申込あり。

3 観戦方法について

(1) チケット販売

平成31年(2019年)春より、東京2020オリンピック33競技339種の観戦チケットの販売が開始される。パラリンピック22競技540種目のチケットは、平成31年(2019年)夏頃から販売が開始される予定である。

(2) 購入方法

購入には、「TOKYO 2020 ID」を取得の上、インターネットから抽選申込を行う必要がある。

2020年にはチケット販売所を通じた販売も予定されている他、東京2020組織委員会が指定する販売事業者が販売する場合もある。

(3) 無料観戦チケット

東京都教育委員会では、都内の学校のこどもたちが、大会競技を、学校単位で直接観戦する機会を提供することとした。

- ①杉並区では、平成30年に、東京都が実施した第1回目の意向調査において、全子供園幼児(5歳児)、全小学校児童、全中学校生徒、済美養護学校全児童生徒分の観戦チケットを希望している。
- ②今後は、東京都から希望する時期や会場等について第2回目の意向調査が行われる予定であり、31年10月までに、各学校・園の観戦日時、会場等を決定し、通知できるよう準備を進めていく。

(価格例)

競技等種目	価格帯(円)
開会式	12,000～300,000
閉会式	12,000～220,000
ビーチバレーボール	3,500～45,000
陸上(トラック&フィールド)	3,000～130,000
競泳	5,800～108,000